

上諏訪温泉朝市

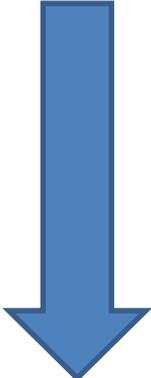


上諏訪温泉朝市の会 会長 山崎 茂 (片倉館)

上諏訪温泉朝市のはじまり①

課題

上諏訪温泉・諏訪湖エリアに來訪した観光客の方々の朝の“お楽しみ”が少ない



“モーニングタイム”を過ごせる新たな観光資源を提供できないだろうか？

↳ 観光客の滞在、周遊の促進及び旅行者の満足度向上を目指す

方法

朝市を開催してみよう！

新鮮な地元農産物等のお買い物や、地域の歴史・文化・人々との交流を楽しんでいただく

上諏訪温泉朝市のはじまり②

開催場所は…？

《やる側の思い》

- 温泉街で観光客も地域住民も利用しやすい場所
- スペース的にも時間的にも使える場所
- 知名度もあり、諏訪のシンボリックな場所は？
- 将来的に多くの人に親んでもらえる場所

相思相愛

《片倉館の思い》

- 元々、住民の福利厚生施設として建設した建物
- 多くの方に、娯楽施設や交流・文化施設として親んでもらいたい



「片倉館」で開催できないだろうか？

依頼



上諏訪温泉朝市の経過①

《背景》

- ・ モーニングタイムにおける観光資源の不足
- ・ 健康への関心や地産地消による安心・安全な農産物等への需要の高まり

【平成24年度】

諏訪地方事務所主導で試験的に朝市の開催

事業主体：諏訪地方事務所（農政課及び商工観光課）、諏訪農業改良普及センター、
企画賛同市町村等

《開催状況、結果》

- ・ 夏季の週末早朝、レトロな雰囲気での片倉館駐車場で開催
- ・ 観光客、出店者、宿泊業者からも好評で継続開催を期待
- ・ 異業種連携、買い物弱者対策としての可能性

これを受け・・・



上諏訪温泉朝市の経過②

地域に根ざしたイベントとして将来に渡って定着させるため、平成25年1月、民間と行政との協働による実行委員会組織

「上諏訪温泉朝市の会」を設立

《目指す姿》

- 行政から民間主導への転換
- 住民参加の促進・知名度向上 ⇒
- 他団体との連携強化

「地域に愛される朝市」
の実現

【上諏訪温泉朝市の会】（H27.5現在）

- 会長 山崎 茂（片倉館）
- 副会長 山田 和市（出店者）、藤森 豊（出店者）
- 事務局長 堀 元彰（諏訪観光協会）
- 企画部会長 山田 和市（兼）
- 誘客部会長 堀 元彰（兼）
- その他出店者全員の参加により、組織を構成

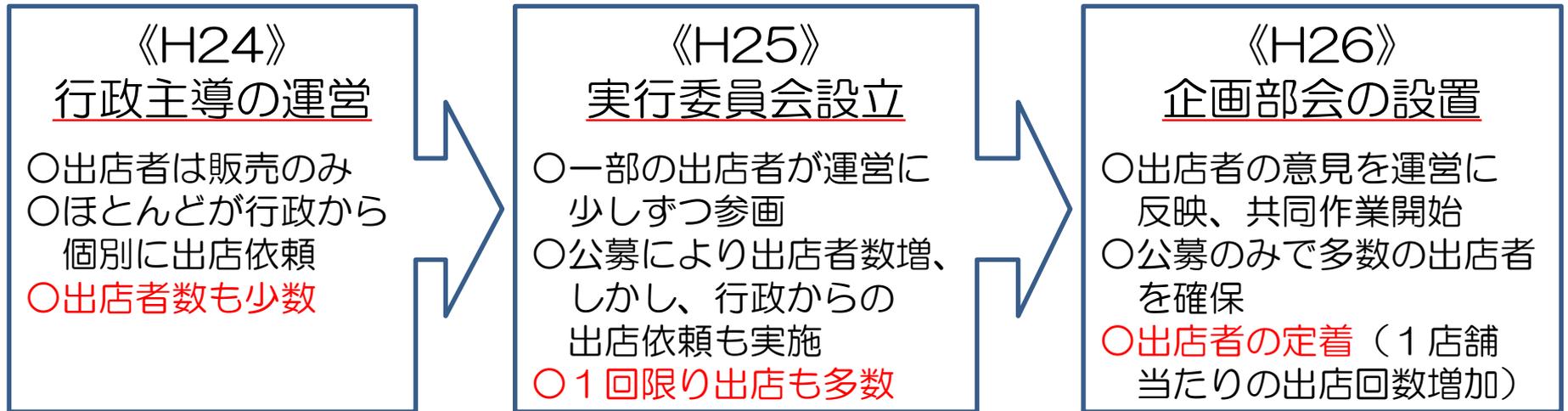


【取組①】出店者による自立的な運営

《背景》

○行政主導の朝市では、人事異動、経費等の問題があり、継続開催は困難

○将来に渡り継続開催するためには、出店者が自ら運営し、参加意識を高めることが必要



宿泊施設、来場者、出店者へのアンケート調査や意見交換会を実施し、みんなで作り上げる朝市に移行

【取組②】 各団体との連携強化

《背景》

- 地域活性化を目指す団体は他にも多数存在
- 各団体の強みを活かしながら参画してもらうことで、
魅力ある朝市を展開
- 朝市の賑わい感の演出
- 商店街の衰退と買い物弱者への対策

連携の輪を広げ互いに共感することで地域活性化を促進



【連携事例1】

諏訪市美術館やテディベア美術館との連携

- 諏訪市美術館の早朝開館（朝市開店時間6時～）
- 朝市で商品購入者、諏訪市美術館の入館料100円引き
- テディベア美術館のキャラクターPR及びアルクマや旬ちゃんとの共演



【連携事例2】

歴史・文化の発信

- ・ 片倉館見学ツアー（片倉館スタッフによるガイド付き見学ツアー開催）



【連携事例3】

諏訪東京理科大学との連携

- 学生によるアンケート調査、分析（来場者、宿泊施設、出店者）
- イベント時における“寒天トマト味噌スープ”ふるまい



【連携事例4】

諏訪実業高校との連携

- マーケティング授業実習の場に提供（授業協力出店者の店舗で販売実習）
- 出店者（六花フードサービス）との共同開発ジェラートの販売



【連携事例5】

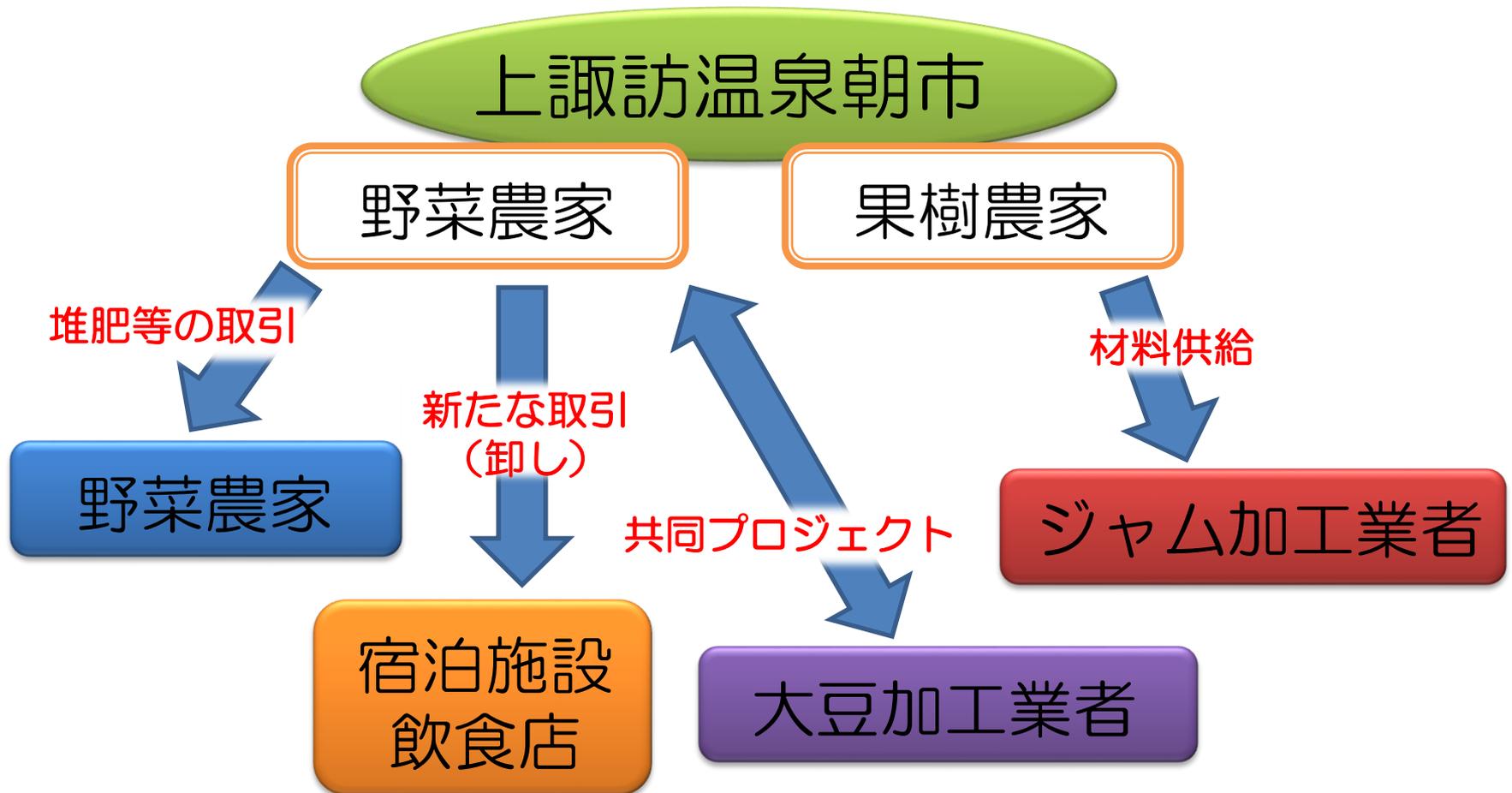
諏訪市、岡谷市の小学校との連携

- ・ 諏訪市立城南小学校と地域ボランティアが栽培した野菜の販売
- ・ 岡谷市立湊小学校の花の苗の販売



【連携事例6】

出店者間の異業種交流・販路開拓等



【取組③】 県外向けPR活動の強化

《背景》

○平成25年度、26年度のアンケート調査では、出店者及び来場者の満足度は高いが、**宿泊事業者の満足度は低い結果**

○一因として、**県外客向けのPR不足**が課題にあがった



「上諏訪温泉朝市 in 銀座NAGANO」の開催

(諏訪実業高校の販売実習とコラボ)

《内容》

○農産物等の試食

味噌マヨネーズで諏訪産セロリの食べ比べ
角寒天サラダ、共同開発ジェラート

○上諏訪温泉朝市の農産物販売

新鮮朝採れ野菜や味噌等の販売

⇒来場者 約105名

○上諏訪温泉朝市出店者による農産物等講座

野菜生産者と味噌職人による“よろず講座”

⇒講座参加者 17名

来場者、参加者は40～60代の女性が過半を占めた



上諏訪温泉朝市 事業実績

	H24	H25	H26	H27
開催時期	7/29～9/30 土日祝不定期開催 AM6:00～8:00	7/28～9/29 毎週日曜日 AM6:00～8:00	7/20～10/19 毎週日曜日と 8/12・13 AM6:00～8:00 (9/21以降は7:00～)	7/19～11/1 毎週日曜日 (8/16,9/6除く) と8/12・13,9/23 AM6:00～8:00
開催回数	10回	9回	16回	16回
延べ来場者数	2,930人	3,460人	5,722人	5,984人
(1回当たり平均)	(293人)	(384人)	(358人)	(374人)
延べ出店者数	127店	184店	336店	325店
(1回当たり平均)	(13店)	(20店)	(21店)	(20店)
事業費 (H24は決算、 H25以降は計画ベース)	53,573円 (地事所長総合調整推進費)	378千円 (地域発元気づくり支援金)	461千円 (地域発元気づくり支援金)	542千円 (地域発元気づくり支援金)

《主な連携・協力団体》

- ・片倉館 (H24～)
- ・諏訪湖温泉旅館組合 (H24～)
- ・諏訪地方観光連盟 (H24～)
- ・市町村、商工会、商工会議所 (H24～)
- ・諏訪市美術館 (H25～)
- ・岡谷蚕糸博物館 (H25)
- ・諏訪東京理科大学 (H25～)
- ・合同会社まちづくり諏訪 (H25～)
- ・諏訪サイクルプロジェクト (H25)
- ・蓼科テディベア美術館 (H26～)
- ・岡谷市立湊小学校 (H26～)
- ・県寒天水産加工業協同組合活動組織 (H26～)
- ・長野県みらい基金 (H26～) ※みらいベース登録
- ・諏訪実業高校 (H27～)

現状と課題・今後の展開

《平成28年度の現状》

- 元気づくり支援金が終了
- 行政の手を離れ、完全自主運営（行政はアドバイスのみ）
 - ↳ 総会の資料作成・運営、朝市当日の運営を全て自分たちで行うため手探りの状態

《課題》

- 自己資金の調達
- 役員への負担（自らも出店しながら運営する苦勞）



《28年度は…》

- 協賛金の依頼
- 企画・運営に協力してもらえる出店者を増やした

《今後の展開》

- 協賛金・寄付金の他に、自己資金の調達方法を考える
- 来場者、宿泊施設、出店者の満足度をさらに上げる
- 朝市当日は当然のこと、会議も打合せも、みんなが楽しく参加できる会にしていく

ご清聴、ありがとうございました



これからも「上諏訪温泉朝市」へのご支援を
よろしくお願いいたします。